

外国語科学習指導案

1 単元名

Unit 5 Where is it from? *NEW HORIZON Elementary English Course 6*

2 単元の目標

食材を通じて世界のつながりを考え、栄養バランスを考えたオリジナルカレーのメニューを発表することができる。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① オリジナルカレーを伝えるための表現を理解している。 ② 産地や栄養素などについて、話す技能を身に付けている。	① 全校児童がバランスよく美味しく食べるために、栄養バランスを考えたオリジナルカレーについて話している。	① 全校児童がバランスよく美味しく食べるために、栄養バランスを考えたオリジナルカレーについて話そうとしている。

4 指導観

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領(平成 29 年 3 月告示) 第 2 章 第 10 節 外国語 第 2 英語 1 目標 (4) 話すこと[発表]

ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

を受けて、栄養バランスを考えたオリジナルカレーについて自分の考えが伝わるように内容を整理した上で発表することを目標とする。

また、2 内容〔知識及び技能〕 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項

エ 文及び文構造

(ア) 文

a 単文

を取り扱う。

また、同 2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項

ア 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。

さらに、同 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

① 言語活動に関する事項

エ 話すこと[発表]

(ウ) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、学校生活や地域に関することなど、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを話す活動。

② 言語の働きに関する事項

ア 言語の使用場面の例

(イ) 特有の表現がよく使われる関わる場面

・ 食事 など

を受けて、単元の最終言語活動では、全児童がバランスよく、美味しく食べるために、栄養バランスを考えたオリジナルカレーを発表し、投票で選ばれたオリジナルカレーは実際に給食に出す予定である。

(2) 児童観

本学年の児童は、主体的に学習に取り組むことができている児童が多い。一方で、意欲的でな

い児童も一定数いる。その背景には、英語に対する苦手意識があるようである。話すこと【発表】に関しては、自分の事(自己紹介、日常生活、夏休みにしたこと)や世界のこと(行ってみたい国)について発表してきた。苦手意識のある児童に関しての手立てとして、発表をグループ発表にしたり、個別でヒントカードを持たせたりしている。

今回、そういった苦手意識をもつ児童もそうでない児童も全員が、発表したいという意欲を高めるために、オリジナルカレーをグループで発表し、投票で選ばれたカレーは実際に学校給食に出すという最終言語活動を設定した。実際にオリジナルカレーを出す当日には、校内放送で英語のスピーチを放送する予定である。なので、投票する際のポイントは、美味しさと英語のスピーチの良さという2つの観点で投票を行う。

児童は、選ばれるために、家庭科で学んだ栄養グループをもとに、バランスの良いオリジナルカレーを考えるとともに、グループで協力して、発表の練習にも意欲的に取り組めるようにする。

(3) 教材観

本単元では、食材を通じて世界とのつながりを考えるとともに、家庭科で学習した栄養素をもとに、オリジナルカレーを発表する。

導入時では、単元の見通しをもたせるとともに、東京で行われているカレーフェスティバルの話を通して、様々なカレーの種類があることを知ったり、ALT の出身国のフィリピンと日本のカレーの違い話したりすることを通して、オリジナルカレーを作りたいという意欲を高めさせる。

展開時には、インフォメーションギャップやマッチングゲームを通して、産地や、栄養素の言い方に慣れ親しませる。また、オリジナルカレーで使用したい具材を考えさせ、世界とのつながりに意識を向けるために、どの国からその具材が多く輸入されているのかを調べさせる。

最終言語活動に向けては、栄養教諭からの話を通して、給食がどのようにして作られているか、オリジナルカレーを作る際の条件(3つの栄養素は必ず入れる。1つのカレーにつき6つの具材をグループで考える。)を理解させた上で、各グループで発表に向けた準備を行う。

発表時には、クラスの児童、教員、調理員も投票し、各クラスの選ばれたオリジナルカレーを選出する。

単元終末には、食材以外(身の回りのもの)にも意識を向けさせ、世界とのつながりに気づかせたい。

模範発表例

Hello, everyone.
 This is Japanese Filipino curry.
 The *Karaage* is in the red group. Do you like *karaage*? The chicken is from Brazil.
 The coconuts milk is in the red group. Do you know coconuts milk? The coconuts milk is from Indonesia.
 The corn is in the green group. The corn is from China.
 The onions are in the green group. The onions are in the America.
 The rice is in the yellow group. The rice is from the Filipin.
 The potatoes are in the yellow group. The potatoes are from America.
 Our curry is sweet & global.
 Thank you for listening!

5 年間指導計画における位置付け

月	単元名	学習内容
4	Unit 1 This is me!	話すこと [発表]・聞くこと
5	Unit 2 My Daily Schedule	話すこと [やり取り]・聞くこと
6	Unit 3 My best summer memory.	話すこと [発表]・書くこと
7	Check Your Step 1 発信！わたしのニュースあれこれ	話すこと [発表]
9	Unit 4 Let's see the world.	話すこと [発表]・書くこと
10	Unit 5 Where is it from?	話すこと [発表]
11	Unit 6 Save the animals.	書くこと・読むこと
12	Check Your Step 2	話すこと [発表]

	始めよう！地球のためにできること	
1	Unit 7 My Best Memory.	話すこと [やり取り]・書くこと
2	Unit 8 My Future , My Dream	話すこと [やり取り]・読むこと
3	Check Your Step 3 卒業！今伝えたい、わたしの思い	話すこと [発表]

6 単元の指導計画と評価計画(全8時間)

時	目標	○ 学習内容 ・ 学習活動	評価規準(評価方法)
第1時	単元の見通しをもち、オリジナルカレーについてのやりとりのおおよその内容を理解する。	○ Our Goal ・ 単元の見通しをもち。 ○ Word Link (Country 等) ○ Teacher's Talk ・ オリジナルカレーについてのやり取りの話聞く。	本時は、この単元の内容を扱ってはいるが、単元の導入時であるため、目標に向けての指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
第2時	オリジナルカレーを発表するために、産地を話す言い方に慣れ親しむ。	○ Word Link (food 等) ○ 本時の目標の確認 ○ Information Gap ・ やり取りを通して、情報を集める。 ○ Let's Think ・ オリジナルカレーに入れたい具材を考え、その具材がどの国から一番輸入しているのかを調べる。	ア－①(観察、やり取り) ア－②(観察、やり取り)
第3時	オリジナルカレーを発表するために、栄養素を話す言い方に慣れ親しむ。	○ Word Link (Country 等) ○ 本時の目標の確認 ○ Activity 1 ・ Matching game をする。 ○ Let's Think ・ オリジナルカレーに入れたい具材がどの栄養素に入るのかを調べ、グループで共有する。	ア－①(観察、やり取り) ア－②(観察、やり取り)
第4時	全校児童がバランスよく、美味しく食べるための、オリジナルカレーを発表する準備をする。	○ 本時の目標の確認 ○ 栄養教諭の話聞く。 ・ オリジナルカレーを作成する際のポイントを聞く。 ○ Prepare ・ グループでオリジナルカレーを考え、発表の練習をする	ウ－①(観察)
第5時	全校児童がバランスよく、美味しく食べるための、オリジナルカレーを発表する準備をする。	○ 本時の目標の確認 ○ Prepare ・ グループでオリジナルカレーを考え、発表の練習をする	ウ－①(観察)
第6時	全校児童がバランスよく、美味しく食べるための、オリジナルカレーを発表する。	○ 本時の目標の確認 ○ Speech ・ 発表をする。	イー①(発表) ウ－①(発表)

第7時	身の回りについて世界と日本のつながりについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の目標の確認 ○ Let's Think <ul style="list-style-type: none"> ・ 身の回りのものから世界とのつながりについて考える。 ○ 本単元で学んだ表現を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ AI 学習アプリ “キュビナ” を使って、個別学習をする。 	本時は、この単元の内容を扱ってはいるが、単元の目標と直接関わりがないため、目標に向けての指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
第8時	日本と世界のつながりに対する理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の目標の確認 ○ 文化探検 ○ 世界探検 ○ 物語探検 ○ ペーパーテスト <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容を理解できているか確認する。 	本時は、この単元の内容を扱ってはいるが、単元の目標と直接関わりがないため、目標に向けての指導は行うが、記録に残す評価は行わない。

7 指導に当たって

- ア オリジナルカレーを発表し、投票で選ばれたら実際に給食に出る活動を設定することで「主体的な学び」を促す。
- イ 使用したい食材がどの国から多く輸入しているのか、調べたものをグループで共有したり、発表の内容を考えたり、練習したりする活動を通して、「対話的な学び」を促す。
- ウ 目的を明確にした上で活動に取り組みせたり、中間評価を適宜行い、新たな気づきを促したりすることで「深い学び」につなげる。

8 第1時

(1) 本時の目標

単元の見通しをもち、オリジナルカレーについてのやりとりのおおよその内容を理解する。

(2) 本時の展開

時間	○ 学習内容 ・ 学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準(評価方法)
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○ Daily Question ○ Let's Sing “One Big World” ○ Sounds and Letters(Q) ○ Word Link (continent, country) <ul style="list-style-type: none"> ・ PD を用いて、大陸の言い方を確認する。 ・ Country Ranking Game (牛肉の生産量が多い国ランキング) クラスを2つのグループに分け、1位から10位までのランキングを予想するゲームをする。その際、当てた順位の数字がそのままポイントとして入るゲームである。 例えば、2位の順位を当てたグループは2ポイント入る。 ○ Let's Chant ○ Our Goal, Today's Goal 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テンポよく進めていき、英語の学習を始める雰囲気をつくる。 ・ アルファベットの名前と音を確認させる。 ・ Ranking を当てた後に、国の言い方を確認させる。 	

	西村先生とキム先生のやりとりのおおよその内容を理解しよう。		
展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> ○ Teacher's Talk ・ 西村先生が先日行ったカレーフェスティバルの話や、日本とフィリピンのカレーの違いなどの話を聞く。 ○ 話の内容を確かめる。 ・ 学習プラットフォーム“Kahoot!”を用いて、話の内容を確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Teacher's Talk の後に、話の中から Quiz を出すことを前もって伝えることで、聞く意欲を高める。 ・ 最終言語活動がグループ発表なので、グループでの活動とする。 	本時は、この単元の内容を扱ってはいるが、単元の導入時であり、目標に向けての指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ○ Closing 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時を振り返り、次回の見通しをもたせる。 	

第2時

(1) 本時の目標

オリジナルカレーを発表するために、産地を話す言い方に慣れ親しむ。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・ 学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準(評価方法)
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○ Daily Question ○ Let's Sing "One Big World" ○ Sounds and Letters(E) ○ Word Link (fruit, vegetable, food) ・ 学習者デジタル教科書を用いて各自単語練習をする。 ・ Faster Game を通して、単語の確認をする。 * Faster Game は、クラスを2グループに分け、どちらが最初にプレゼンテーションソフトから示される単語を発話できるか競うゲームである。 ○ Let's Chant ○ Today's Goal 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テンポよく進めていき、英語の学習を始める雰囲気をつくる。 ・ アルファベットの名前と音を確認させる。 ・ 各自単語練習の後に、覚えた単語の中から Faster Game をすることを伝えることで、単語練習をする意欲を高める。 	
	オリジナルカレーを発表するために、産地を伝える言い方に慣れ親しもう。		

<p>展開 32分</p>	<p>○ Let's Listen1 ・ 食べ物と産地のやり取りを聞く。</p> <p>○ Activity ・ Information Gap 一つのワークシートに一つの情報しか載せていないワークシートを用いて、食べ物と産地、値段を尋ね合うやり取りを通して、情報を集める。</p> <p>A:Where is the～from? B:The ～is from ～. A:How much is～? B:It's ～yen.</p> <p>○Let's Think ・ オリジナルカレーに入れたい具材とその具材が、どの国から一番輸入しているのかを調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 音声を聞いた後に、音声の中にある、目標センテンスを復唱させる。 リズムボックスを用いて、目標センテンスに慣れ親しませた上で、やり取りをさせる。 活動後は全員で答え合わせをすることで、目標センテンスを確認させる。 どの国から一番輸入しているのかを調べさせることで、世界と日本につながりについて考えさせる。 	<p>アー① オリジナルカレーを伝えるための表現を理解している。 (観察、やり取り)</p> <p>アー② 産地について、話す技能を身に付けている。 (観察、やり取り)</p>
<p>まとめ 3分</p>	<p>○ Closing</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時を振り返り、次回の見通しをもたせる。 	

第3時

(1) 本時の目標

オリジナルカレーを発表するために、栄養素を話す言い方に慣れ親しむ。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・ 学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準(評価方法)
<p>導入 10分</p>	<p>○ Daily Question ○ Let's Sing "One Big World" ○ Sounds and Letters(Review⑤) ○ Small Talk ・ 好きな野菜についてやり取りをする。</p> <p>○ Word Link (continent, country) ・ Country Ranking Game (米の生産量が多い国ランキング) * ルールは第1時と同様</p>	<ul style="list-style-type: none"> テンポよく進めていき、英語の学習を始める雰囲気をつくる。 アルファベットの名前と音を確認する * Small Talk では、テーマの文章を聞き合って終了ではなく、PD に示されている会話を続けるコツを常に意識させている。また、話すこと(やり取り)に関しては、やり取りをする目の前の人を大切にすることが大切であることを意識させている。 Ranking Game 後に、Ranking に出てきた国がどこの大陸にあるのかを尋ねるこ 	

	<ul style="list-style-type: none"> ○ Let's Chant ○ Today's Goal 	<p>とで、大陸の言い方を確認する。</p> <p>Ex) T: What continent is China? S: China is in Asia.</p>	
オリジナルカレーを発表するために、栄養素を話す言い方に慣れ親しもう。			
展開 32分	<ul style="list-style-type: none"> ○ Let's Think <ul style="list-style-type: none"> ・ フラッシュカードを用いて食べ物がどの栄養素に入るのかを想起させ、言い方を確認する。 Ex) The beef is in the red group. ○ Activity <ul style="list-style-type: none"> ・ Matching Game ペアで食べ物のカードを用いて、神経衰弱をする。 ○ Let's Think <ul style="list-style-type: none"> ・ オリジナルカレーで自分が使いたい食材がどの栄養素に入るのかを考え、グループで共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭科で学習した栄養素のグループを想起させる。 ・ カードがそろったら、その具材の栄養素のグループを伝える文章を発話させる。 * 発話しないとポイントにならない。 ・ 共有する際には、日本語・英語どちらでもよいことを伝えることで、どの児童も自分の考えを伝えられるようにする。 	<p>アー① オリジナルカレーを伝えるための表現を理解している。 (観察)</p> <p>アー② 栄養素について、話す技能を身に付けている。 (観察)</p>
まとめ 3分	<ul style="list-style-type: none"> ○ Closing 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時を振り返り、オリジナルカレーを作成する際に、条件等があるのかどうかを聞く必然性をもたせ、次回、栄養士さんから話を伺うことを予告する。 	

第4時

(1) 本時の目標

全校児童がバランスよく、美味しく食べるための、オリジナルカレーを発表する準備をする。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・ 学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準(評価方法)
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ○ Daily Question ○ Let's Sing "One Big World" ○ Sounds and Letters(聞いてみよう⑤) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テンポよく進めていき、英語の学習を始める雰囲気をつくる。 ・ 音声を聞かせ、内容面や音声面で分かったことや気づいたことを共有した後で、読ませる。 	

	○Today's Goal <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 全校児童がバランスよく、美味しく食べるための、オリジナルカレーを発表する準備をしよう。 </div>		
展開 38分	○ 栄養教諭のお話を聞く。 ・ 給食がどのようにして作られているのか、また、オリジナルカレーを作る際のポイントを聞く。 ○ 発表のための準備をする。 ・ 具材を6つ考える。 ・ 伝えたい内容を考える。 ・ 役割分担をする。 ・ 練習をする。 ・ 発表の資料(ポスター)を作成する。	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <u>オリジナルカレーを作る際のポイント</u> ・ 6つの具材を考える。 ・ 3つの栄養素は必ず入れるようにする。 ・ 全児童の事を考える。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師と ALT によるサンプルスピーチを見せ、活動に見通しをもたせた上でグループワークに取り組みさせる。 ・ 6つの具材を考える際、3つの栄養素のグループは必ず入れさせることでバランスの良いカレーになるようにする。また、全学年のことを考え、活動に取り組みさせる。 * 本時と次時は栄養教諭にも入っていただき、児童がいつでも質問できるようにする。 ・ 投票時の観点(美味しさ・スピーチの良さ)を伝えることで、より良いスピーチになるよう練習する必然性をもたせる。 	ウー① 全校児童がバランスよく美味しく食べるために、栄養バランスを考えたオリジナルカレーについて話そうとしている。 (観察)
まとめ 2分	○ Closing	・ 本時を振り返り、次回の見通しをもたせる。	

第5時

(1) 本時の目標

全校児童がバランスよく、美味しく食べるための、オリジナルカレーを発表する準備をする。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・ 学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準(評価方法)
導入 5分	○ Daily Question ○ Let's Sing "One Big World" ○ Sounds and Letters(Review⑥) ○ Today's Goal <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 全校児童がバランスよく、美味しく食べるための、オリジナルカレーを発表する準備をしよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ テンポよく進めていき、英語の学習を始める雰囲気をつくる。 ・ アルファベットの名前と音を確認する ・ 前時の振り返りと本時の目標を確認する。 	

展開 37分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発表のための準備をする。 ・ 具材を6つ考える。 ・ 伝えたい内容を考える。 ・ 役割分担をする。 ・ 練習をする。 ・ 発表の資料(ポスター)を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師と ALT によるサンプルスピーチを見せ、活動に見通しをもたせた上でグループワークに取り組みさせる。 ・ 6つの具材を考える際、3つの栄養素のグループは必ず入れさせることでバランスの良いカレーになるようにする。また、全学年のことを考え、活動に取り組みさせる。 ・ 投票時の観点(美味しさ・スピーチの良さ)を伝えることで、より良いスピーチになるよう練習する必然性をもたせる。 	<p>ウー① 全校児童がバランスよく美味しく食べるために、栄養バランスを考えたオリジナルカレーについて話そうとしている。 (観察)</p>
まとめ 3分	○ Closing	・ 本時を振り返り、次回の見通しをもたせる。	

第6時

(1) 本時の目標

全校児童がバランスよく、美味しく食べるための、オリジナルカレーを発表する。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準(評価方法)
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ○ Daily Question ○ Let's Sing "One Big World" ○ Sounds and Letters(聞いてみよう⑥) ○ Today's Goal 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テンポよく進めていき、英語の学習を始める雰囲気をつくる。 ・ 音声を聞かせ、内容面や音声面で分かったことや気づいたことを共有した後で、読ませる。 ・ 前時の振り返りと本時の目標を確認する。 	
<p>全校児童がバランスよく、美味しく食べるための、オリジナルカレーを発表しよう。</p>			
展開 37分	<ul style="list-style-type: none"> ○ Speech <p>Ex) Hello, everyone. This is Japanese Filipino curry. The <i>Karaage</i> is in the red group. Do you like <i>karaage</i>? The chicken is from Brazil. The coconuts milk is in the red group. Do you know coconuts milk? The coconuts milk is from Indonesia. The corn is in the green group. The corn is from China. The onions are in the green group.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 投票するポイント(美味しさ・スピーチの良さ)を今一度確認させることで、どの児童も意欲的に発表を聞こうとさせる。 	<p>イー① 全校児童がバランスよく美味しく食べるために、栄養バランスを考えたオリジナルカレーについて話している。 (発表)</p> <p>ウー① 全校児童がバランスよく美味しく食べるために、栄養バランスを考えたオリジ</p>

	<p>The onions are in the America. The rice is in the yellow group. The rice is from the Filipin. The potatoes are in the yellow group. The potatoes are from America. Our curry is sweet & global. Thank you for listening!</p> <p>○ 投票する。</p>	<p>* 調理員さん等にも投票してもらうため、単元末に結果発表することを伝える。</p>	<p>ナルカレーについて話そうとしている。 (発表)</p>
まとめ 3分	○ Closing	<p>・ 本時を振り返り、次回の見通しをもたせる。</p>	

第7時

(1) 本時の目標

身の回りについて世界と日本のつながりについて考えよう。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・ 学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準(評価方法)
導入 5分	<p>○ Daily Question ○ Let's Sing "One Big World" ○ Sounds and Letters(Review⑦) ○ Today's Goal</p>	<p>・ テンポよく進めていき、英語の学習を始める雰囲気をつくる。 ・ アルファベットの名前と音を確認する ・ 前時の振り返りと本時の目標を確認する。</p>	
	<p>身の回りについて世界と日本のつながりについて考えよう。</p>		
展開 37分	<p>○ Let's Think ・ 身の回りの物(文房具や衣服など)がどのから来ているのかについて調べる。 ・ 調べたことをグループで共有する。 Ex) My sweater is from New Zealand. New Zealand is in Oceania.</p> <p>○ Let's Read and Write ・ 調べた中の身の回りの物の一つを選び、英文を書く。 Ex) My sweater is from New Zealand. New Zealand is in Oceania.</p>	<p>・ 先ずは、クラス全体で自分の消しゴムがどこから来ているのかを確認し、身の回りの物を調べたいという意欲を高める。 ・ 日本は沢山の国とのつながりがあることに気付かせる。</p> <p>・ 英文を書く際のポイント(文の初めは大文字・文の最後はピリオド・単語と単語の間はスペースを空ける。)をセルフチェックさせ、確認ができた児童から、先生から丸をもらえるようにする。</p>	<p>本時は、この単元の内容を扱ってはいるが、単元の目標と直接関わりがないため、目標に向けての指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p>

	○ 本単元の表現を確かめる。 ・ 学習 e ポータル+AI 学習教材「キュビナ」を用いて、各自問題に取り組む。	・ 英文で丸をもらえた児童から、キュビナに取り組む。	
まとめ 3分	○ Closing	・ 本時を振り返り、次回の見通しをもたせる。	

第8時

(1) 本時の目標

日本と世界のつながりに対する理解を深める。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準(評価方法)
導入 5分	○ Daily Question ○ Let's Sing "One Big World" ○ Sounds and Letters(聞いてみよう⑦) ○ Today's Goal	<ul style="list-style-type: none"> テンポよく進めていき、英語の学習を始める雰囲気をつくる。 音声を聞かせ、内容面や音声面で分かったことや気づいたことを共有した後で、読ませる。 前時の振り返りと本時の目標を確認する。 	
	日本と世界のつながりに対する理解を深める。		
展開 37分	○文化探検・世界探検・物語探検 ・日本と世界との交流についての映像を見て、質問に答える。 ・音声やイラストを参考にして物語を読む。 ○ペーパーテスト ○オリジナルカレー結果発表	<ul style="list-style-type: none"> 映像の内容について児童とやり取りをしながら答え合わせをする。 物語の内容について、児童とやり取りをしながら確認する。 	本時は、この単元の内容を扱ってはいるが、単元の目標と直接関わりがないため、目標に向けての指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
まとめ 3分	○Closing		